

【農業 ×IoT】IoTで栽培環境を徹底管理した 国産バナナのEC機能を公開 Webサイトから簡単に購入できるようになりました

アジアクエスト株式会社(本社所在地:東京都千代田区飯田橋 代表取締役:桃井純)は、2019年1月31日、システム導入及び開発を支援しているネクストファーム株式会社(本社所在地:宮崎県児湯郡川南町平田716代表取締役 内田匡彦)のWebサイトから宮崎県産無農薬バナナ「NEXT716」が購入できるEC機能を公開いたしました。



宮崎県産無農薬バナナ「NEXT716」についてのプレスリリースはこちら
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000019319.html>

■どこからでも宮崎県産無農薬バナナ「NEXT716」が購入可能になります

宮崎県川南町にて無農薬バナナ「NEXT716」を栽培しているネクストファーム株式会社は消費者にとってより安心で安全なバナナをお届けるとともに、農業全体の付加価値を高めていくことを目指しています。アジアクエストは11月末にWebサイトを構築し、2019年1月31日にEC機能を追加しました。今までは宮崎県内百貨店や宮崎空港内店舗、物産展、ふるさと納税でしか手に入れることができませんでしたが、下記Webサイトから、どこからでも簡単に購入が可能となりました。

今後は、自社バナナを使用した幅広い商品をWEBサイト内で購入できるようにしていくことを検討しています。

[WEB] <http://next716.com/>

■宮崎県産無農薬バナナ「NEXT716」の魅力

バナナは寒さに弱いため、日本で食べられるバナナの99.9%は海外からの輸入で賄われています。国内でのバナナ栽培の実例が少なく、栽培するにあたりどのような環境が適しているのかを把握する必要がありました。そこで、アジアクエストはハウス内にIoT機器の導入を支援し、温度や湿度、CO2等のデータを現場の管理者及び作業者にリアルタイムで共有しています。

宮崎県産無農薬バナナ「NEXT716」は、1950年代までは主流だった「グロスマシエル種」で、現在はあまり出回っていない希少な品種です。糖度が非常に高く、一般的なバナナの約15度をはるかに超え、香りもよく、口当たりも良い甘さに満ちたバナナです。無農薬で栽培されるため、害虫駆除の作業も手作業で行われています。たくさんの努力と時間をかけて丁寧に栽培された「NEXT716」は、安心して皮ごと食べることができます。

【本件に関するお問い合わせ先】

アジアクエスト株式会社 SI 事業部 宮崎 (ミヤザキ)

TEL : (03) 6261-2701

e-mail : pressrelease@asia-quest.jp

URL : <https://www.asia-quest.jp/>